

中央市の 病気事情

→問合せ 保険課 ☎274-8545



国民健康保険は、病気やケガをしたときの医療費に充てるため、加入者のみなさんがお金を出し合って支える制度です。そのため、医療費が増加すると、みなさんが納める保険税の引き上げの原因になります。

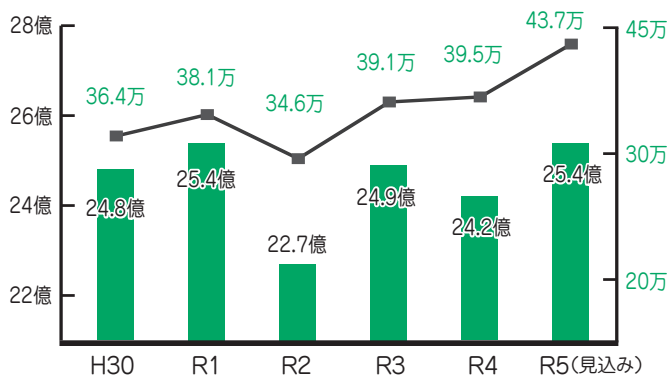
令和5年度の国民健康保険にかかる総医療費は、前年比で約1.2億円増加する見込みです。また、1人あたりの年間医療費については、数年の中で最も高い値となった昨年度をさらに上回っています。これは、国民健康保険加入者数の減少のほか、糖尿病や腎不全、心疾患など医療費が高額になる疾患での受診率が高く、1件あたりの入院費や診療にかかる治療費が増額したことが要因としてあげられます。

▼国保疾病統計(令和5年5月分)

診療報酬明細書(レセプト)から、市民の医療の様子を推察することができます。どの年代にどんな疾患が多いのか、どれだけ医療費が使われているかを知ること、予防と対策に繋がります。

年間総医療費と1人あたりの年間医療費の推移

■ 年間総医療費 ■ 1人あたりの医療費 【単位：円】



乳幼児期

令和5年5月の診療分

0歳～4歳(被保険者数86人) 【1人あたり】
医療費総額 184万4,310円/89件 **2万1,445円**

順位	疾患	件数	医療費
1位	呼吸器系の疾患	43件	69万5,420円
2位	皮膚及び皮下組織の疾患	13件	13万3,660円
3位	その他	10件	10万1,400円
4位	眼及び付属器の疾患	7件	5万3,830円

★乳幼児期は「呼吸器系の疾患」や、皮膚炎や湿疹などの「皮膚及び皮下組織の疾患」が多くみられました。



青年期

令和5年5月の診療分

20歳～29歳(被保険者数299人) 【1人あたり】
医療費総額 425万3,810円/104件 **1万4,227円**

順位	疾患	件数	医療費
1位	損傷、中毒及びその他の外因	7件	123万4,340円
2位	精神及び行動の障害	14件	114万2,250円
3位	消化器系の疾患	6件	56万3,490円
4位	呼吸器系の疾患	29件	40万4,340円

★20歳代から、躁うつ病などの精神疾患や、胃炎などの消化器系の疾患が増加します。今回1位となった損傷等は、突発的な事故によるものでした。

30歳～39歳(被保険者数426人) 【1人あたり】
医療費総額 436万360円/176件 **1万2,366円**

順位	疾患	件数	医療費
1位	新生物(腫瘍)	7件	130万1,780円
2位	神経系の疾患	24件	93万7,140円
3位	精神及び行動の障害	33件	60万2,400円
4位	呼吸器系の疾患	23件	33万5,350円

★30歳代は高額な医療費を伴う「新生物(腫瘍)」が1位です。また、神経系の疾患や精神疾患を抱える人もいます。



少年期

令和5年5月の診療分

5歳～9歳(被保険者数126人) 【1人あたり】
医療費総額 134万5,870円/91件 **1万682円**

順位	疾患	件数	医療費
1位	呼吸器系の疾患	45件	70万5,110円
2位	精神及び行動の障害	8件	22万2,010円
3位	損傷、中毒及びその他の外因	4件	13万8,780円
4位	皮膚及び皮下組織の疾患	8件	9万8,400円

★1位の多くは、アレルギー性鼻炎や喘息でした。また、この年代では皮膚炎や湿疹などの「皮膚及び皮下組織の疾患」も多くみられます。

10歳～19歳(被保険者数314人) 【1人あたり】
医療費総額 268万3,860円/169件 **8,547円**

順位	疾患	件数	医療費
1位	呼吸器系の疾患	49件	52万5,620円
2位	神経系の疾患	8件	40万3,930円
3位	皮膚及び皮下組織の疾患	19件	29万2,400円
4位	筋骨格系及び結合組織の疾患	13件	28万7,680円

★1位は、アレルギー性鼻炎や喘息などの「呼吸器系の疾患」でした。



高齢期

令和5年5月の診療分

60歳～69歳(被保険者数1,684人)【1人あたり】
医療費総額 5,536万9,820円/1,429件 **3万2,880円**

1位	新生物(腫瘍)	63件	1,178万1,370円
2位	尿路性器系の疾患	65件	929万230円
3位	精神及び行動の障害	49件	525万9,380円
4位	内分泌、栄養及び代謝疾患	248件	507万1,910円

★60歳代は「新生物(腫瘍)」が1位です。また、甲状腺障害や糖尿病、脂質異常症で医療機関を受診する人が大幅に増えています。

70歳～74歳(被保険者数1,667人)【1人あたり】
医療費総額 7,713万6,520円/1,767件 **4万6,273円**

1位	新生物(腫瘍)	74件	1,323万8,570円
2位	循環器系の疾患	348件	1,311万6,970円
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	270件	1,061万1,840円
4位	尿路性器系の疾患	87件	642万2,260円

★70歳代は新生物(腫瘍)が1位ですが、上位疾患における医療費や件数は他の世代と比べて非常に大きいことがわかります。



中高年期

令和5年5月の診療分

40歳～49歳(被保険者数582人)【1人あたり】
医療費総額 1,127万2,200円/326件 **1万9,368円**

1位	精神及び行動の障害	58件	205万1,380円
2位	呼吸器系の疾患	27件	146万6,880円
3位	新生物(腫瘍)	7件	124万500円
4位	神経系の疾患	26件	121万2,220円

★40歳代は躁うつ病などの精神疾患が1位です。また、新生物(腫瘍)を抱える人もおり、全体的な医療費も30歳代と比べて大きく増加しています。

50歳～59歳(被保険者数724人)【1人あたり】
医療費総額 2,636万1,940円/430件 **3万6,412円**

1位	循環器系の疾患	77件	620万5,200円
2位	新生物(腫瘍)	20件	426万2,470円
3位	尿路性器系の疾患	23件	343万4,710円
4位	精神及び行動の障害	43件	289万4,190円

★50歳代は高血圧性疾患などの循環器系疾患が1位です。また、腎不全や糖尿病などの長期的な治療と高額な医療費を伴う疾患が増え始めています。



国保疾病統計からわかったこと

▼令和5年5月分の全体の医療費でみると、1位「新生物(腫瘍)」2位「循環器系の疾患」3位「尿路性器系の疾患」の順となりました。

▼20歳代から60歳代にかけて精神疾患の割合は非常に高くなります。入院が長期になると一人あたりの医療費は高額となるので、不眠や憂鬱な気分が続く場合は、早めに対処することが大切です。

▼40歳代以降は、がん(新生物(腫瘍))が1位となり、一人あたりの医療費も増加しています。30歳代でもがんの割合が増えているため、若いうちからがん検診の受診や、生活習慣病予防、食生活の改善、適度な運動など対策が必要です。

▼50歳代からは、腎不全(尿路性器系疾患)、高血圧性疾患・脳梗塞(循環器系の疾患)糖尿病(内分泌、栄養及び代謝疾患)の割合が増え、長期的な治療が伴うことで一人あたりの医療費が増加しています。健康で長生きするために、健康寿命を伸ばす対策をしましょう。

▼タバコは脳血管疾患や心疾患をはじめ、多くの病気と関係しています。また、周りの人の健康にも悪影響を及ぼします。できるだけ早く「禁煙」に取り組みしましょう。

医療費の抑制にご協力を

安定的な国保財源確保のため下記のポイントを心がけましょう。

- ➡ かかりつけ医を持ち、重複・頻回受診に気を付けましょう。
- ➡ 緊急の場合でなければ、時間内に受診しましょう。
- ➡ 後発医薬品(ジェネリック医薬品)の利用を検討してみましょう。
- ➡ お薬手帳を持ちましょう。

▼予防可能な疾患である生活習慣病(高血圧症や糖尿病など)への対策として、まず自分の健康状態や生活習慣を見つめ直すことが大切です。健康診断や人間ドックは、疾患の早期発見や早期治療に繋がるだけでなく、自分自身の生活習慣を見直すきっかけにもなります。健康診断や人間ドックを積極的に受診し、特定保健指導を利用しましょう。市では4月に各種健診希望調査を実施しますので、期日までに申し込みをしてください。また健康診断後、要精密検査や要治療と診断された人は、早めに対処してください。